（明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可）　（日刊）月曜及祭日の翌日休刊　明治四十三年十二月十七日（土曜日）　第五百八十二號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如しいそぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

編輯局私言　五洲生

▲民團議員改選期も確定いたし是にて當分は民團存廢問題も立ち消ゑなるべく候風聲鶴涙とも可申泰山鳴動して窮鼠一疋とも可申候。

▲夫れは兎に角愈改選いたすことに相成候上は此の際選擧有資格者に於ても充分愼重の態度を以て民團の爲めに適切なる人物を選出いたし度ものに候。

▲民團の爲めに適切なる人物とは單に地位あり名望あるの人には無之候尠くとも半島の開發といふことに就て多少の識見もあり見識をも有するの人物の謂に御座候。

▲一言以て之を蔽へば殖民地に於ける統治の組織体は經驗と鍛錬とを有する本國に於けるものとは大に趣を異にし亦離島同日の比にあらざるもの有之候從て殖民地に於ける自治体の代表者の如きは寧ろ殖民地の經營者とも可申ものに有之候。

▲蓋し創設的施政時代に於ける殖民政治に隔靴搔痒の憾なきものは無之候殊に我が半島に於ける施政に於て擧指すべきこと多きは既に御承知の如くに候へば此の間に處する唯一の自衞策は良材を選出するの外か無之候

▲然るに自治の思想が一般に普及せぬ結果として之を輕視し看過するは實に情無き次第に候夫れも殖民地のこと故多少免れぬ事情在りとするも苟も永住的團民なる以上は團体の幸不幸の根源する處を吾不關焉とは申され間敷候。

▲民團存廢問題は例へ如何に相成候とも民團が早晩撤廢せられ日鮮人混治のことは疑を容れず候此の場合に於ても只民團なる小なる模型が其の區域を擴大にせられたと云ふに過ぎずして自治の骨子は矢張り內地人ならざるを不得候さすれば今の民團の經營如何は遂に半島住民の利害消長に懸ることに相成申候。

▲自治制の最も進歩發達したるは英國に候殊に倫敦府の今日世界の冠府たる所以は其の自治が吾人の理想通りに行はれ居る結果にして之を東京に比すれば月鼈霄壤の差あり候遙莫我が京城は半島に於ける首府其の凡ての經營に於て各道の模範たらざるべからざるの責任を有し候

▲我が京城團民諸君は情實に驅らるることなく權勢に壓迫せらるゝことなく半島住民の利益と幸福とを助長する爲めに適切なる有爲の人物を選出することを忘るべからざる義に候之れ軈て團員各自の利害休戚に懸ることに候へば木偶像丈は選出せぬやう致度きものに候。（十二月十五日）

●山東塩密輸入　朝鮮

に於て消費する食鹽は約二億五千万斤にして內一億五千万斤は南陽其他に於て產出し殘餘の二億萬斤は臺灣及び關東州より輸入せらるべき筈なるに其實山東省鹽の密輸入極めて多く密輸入者は概ね手船に食鹽を滿載し來り運賃を省くのみならず稅目を盜んで之を販賣するが故に其密輸入高驚くべき巨額に上り臺灣及び關東州鹽は殆んど事實に於てこの山東鹽に壓倒せられつゝあり目下これに關し善後策につきて攻究中なりといへり

●壯丁の体格佳良

年々五十萬前後を算する本邦陸軍の壯丁は兩三年前までは概して躰格不良に向へる傾向ありしが當時特に地方衞生に向つて留意戒告するところありし結果にや昨年來漸くその効果現はれ來りて漸々佳良となり殊に身長の如き著しき好結果を呈し居れば此傾向をして持續せしめば比年ならずして壯丁全般の体格に一革新を見る又難からずと

●群山江景間郵便

群山江景間水路郵便物遞送は昨今の寒氣により錦江上流結氷せしため一昨十一日當地發便は熊浦附近溯船の溯り得る地點まで航送し同地江景間は陸路遞送を爲すことゝせり又同夜江景を發すべき郵便物より航送したるを以て相互間の發着一日の遲延を來せり尚ほ二三ヶ月間は前記方法を續行すと云ふ

●十一月中の京城金融

京城商業會議所調査に係る客月中に於ける京城金融狀況を聞くに前月來漸次活氣を添へたる京城金融界は初旬以來益々向上の一方にして各銀行共も取引繁忙を來せり殊に十一月は季節柄米穀大豆等移出品の移動き活潑にして之れが買出資金を始め其の他工事資金の需用多く亦た綿糸綿布類は固より一般移入品の好況に伴ひ漸次貸出の膨脹したるに反し預金は大に減少して金融稍や多忙を告げたる前記移入品に對する爲替金受入少なからざるを以て大に此の間の融和を見るを得たり然るに或る銀行勘定決算期に至らば一層の繁忙を來たし大口資金の需要を喚起するに至る可の如きは母國より多少資金を仰ぎたる狀態なり金利は併合後母國資金流入の結果稍や低落の氣配なるも未だ甚だしき變動を見ず亦た金銀出納高の著しく減少したるは本月に入り各種銀行共に特殊取扱に係る大口の出納なかりしに因る尚ほ朝鮮人側金融狀況を見るに日人側同樣米穀買出移入資金等需用多きにして金利は反して三四厘方引上げを爲すに至れり一面退官賜金及土地賣買等の爲め或る一部社會に於て多少潤澤なりし金融も外國爲替及び冬物仕入其の他一般購買力增進の結果既に其の七八分は消費したるが如く前月に比し預金は僅かに七萬餘圓を增加したるのみ貸金に却つて十三万餘圓を增加するに至れり此の趨勢を以てせば歲末の取引

和歌募集

勅題「寒月照梅花」
選者　九皐館去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月廿五日、發表は四十四年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮つて投詠せられんことを希ふ

十二月二日　本社編輯局

○新刊紹介

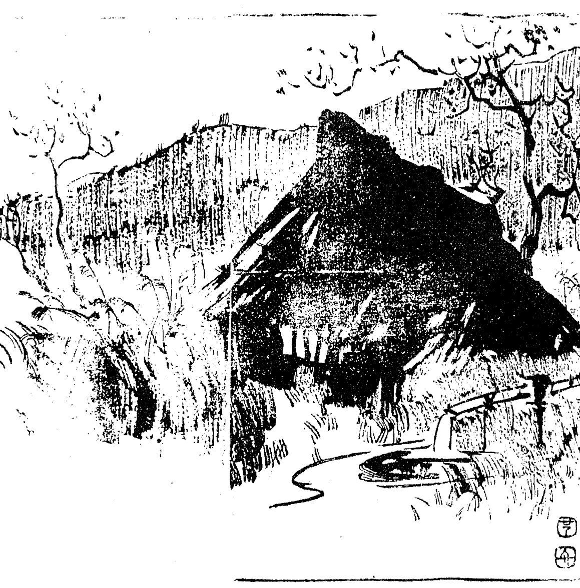
●東京經濟雜誌（六二卷一五七二號）內容は田尻博士同盟罷工及輸出に就て、靑木取引所課長、株式界現狀工學士シー、イー氏の瓦斯事業の運命を論じて資本家に警告す其他一大燐礦發見、米價の強弱說等例に依り有益の記載多し（一部金十二錢、東京京橋區彌左衞門町經濟雜誌社）

●朝鮮經濟月報（七月號）內容は貿易金融物價勞銀其他參考材料として各般の理財現況を表出したるもの半島の經濟界唯一のオーソリチーたり（總督府度支部）

●法制新聞（二十七號）井上博士の法律經濟の敎育、木山氏朝鮮に於ける普通小作と小作權其他名士の法政論、判決例等ありて半島に於ける斯界唯一の好資料なり（十二錢五厘京城廣川町法政新聞社）

山中鹿之助　第卅八回　西尾麟慶演

五百の爲に命を取られる處であつた、隨分安い命もあればあるもの、併し此頃の五百と云つたら只今の五圓にも當りませう、亂世の慣とは申しながら、國々の政治が行屆きませんから間々斯う云ふ事があつたもの、されば村中に憎れたら殺されて了ふものが澤山あつたもので御座ひます、又都合によりましては、其處を離れまして一ケ國か二ケ國向ふへ行て見ますると夫で其者の命は助ります、國越をしたから仕方がないと云ふ、他國までは追懸て往きません、領主が違へば夫れッきりになりますので御座ひます、茲で鹿之助は彼の者の繩を解かして見ると大兵肥滿に致して、雲つくばかり何歲であると云ふと本年十八歲で御座ひます、鹿「十八歲にしては立派な體格だ、何を致しても老婆一人位ゐの養へんと云ふ事はあるまい……」○「エヽ旦那樣御尤で御座ひます、老婆が長の病ひ、夫に此山の中で何をしやうと云ふ事も御座ひません、只だ深山に這入りまして、木の實[illegible]を食料と致しますので、枯枝を拾ひ之を町へ持てまゐりまして、聊かの賃錢を取て漸く其日を送り居りまする、年來此地に住む人は夫々田地の餘德がありますが、私は自分の所持の地面と云ふものが御座ひません、夫れに元より知も何もありません、夫ゆゑ困難を致します……」と云ふと老婆も涙にくれまして 婆「孫は至つて孝行な奴で御座ひまして、已れの喰るものも喰ず、能く妾の面倒を見てくれますが、唯今申上る通り此の片山里で御座ひますから人に傭れましてもホンの聊かの錢でも貰つて歸りますのが一日の雇中々一日骨を折ましてみても妾の手當をする程の事は出來ません、夫に妾が病つて居りましたから、已むなく孫が木を拔ましたので御座ひませう、併し一度か二度でも御座ひまするが、一歩百歩でありまして、何んと申されても仕方がない次第、旦那樣のお蔭をもちまして命が助りまして誠に有難ふ存じますせめては、御禮の寸志まで茶を差上げたく、屋ながら、今日箇樣な御恩を受けましたから今晚は妾共へ御立寄を願ひ度ふ御座ひます……」鹿「左樣か、イヤ如何なる見苦しい處でも苦しふはない、親切となれば立寄ふぞ」是より此若者と同道を致しまして、來て見るとホンの雨を凌ぐまでに芽で屋根を葺まして四方の柱は手頃の木を持て參り、之を藤蔓にてからみつけ、周圍に粗朶を立て並べまして土地に草を置き、此上に草蓆を敷き、中に三尺四方ばかりの爐を切りまして、其處で火を焚上から藤蔓で土鍋を吊し、土瓶も一ツありますばかりでございます、鹿之助を此者等の志しを愛て、見苦しきを厭はず茲に先づ休息を致しました、老婆が鍋を前なる谷川へ持て參つて洗ひまして、頓ての事に此釣吊しに掛けまして、邊りの粗朶をくべて四方山の話をする內に出來ました、是が何かと思ひますと粟と蕎麥粉を當分に致しまして、堅めましたもので、是を宜しく丸めまして靑菜の漬たのがあります、之を細かに刻でクルクルと之を卷まして柏の葉の上に乗せて出しました、鹿之助之を取上げ、老婆の親切、頓て味ひいかならんと、未だ春には遠けれども其靑みさしたる處と云ひ、麥蕎粉にくるみて見へたる處と云ひ、粟の黃ばみて見へたる處と云ひ、靑菜にくるみたる處は殆んど蕊の樣にも思はれて蕊の餅、賞翫を致して食し、茲で二人に向つて 鹿「其身たちは如何なる次第で此の里に居るか、此處の產でないと云ふがシテ何處の者だ……」婆「左樣で御座ひます、妾の夫と申しまするは山名中將氏實の臣下で御座ひましたが、世の中次第に亂れ、良夫の軍功も用ゐられず、遂に浪人致して此處へ參りました、是は妾の孫で御座ひます、倅夫婦の者も早い頃討死を致しました、良人が貴孫をつれて此地へ來り、良人世にある頃までは、聊か村の者に手習の指南を致して居りましたが、良人の死亡ました後は斯樣な姿になりました、不憫や此の孫は幼年にして父母に離れまして妾と二人が後に殘りましたので御座ひます、と涙と共に物語りました。



東京電報（十六日）

●本日の皇族會議 今十六日午前十時三十分より宮中に於て開會の皇族會議に御諮詢の皇室財產令並に皇室世傳御料、普通御料及び皇室財產に關する御料の性質、皇室財產の分析並に處分其他の手續等を制定せしもの八十三條にして陛下親しく臨御あらせられ〔…〕議案の說明の任に當るべしと漏れ承る

●各宮殿下御參內 別項の如く今十六日宮中に於て皇族會議開會せらるゝを以て〔…〕伏見、北白川、竹田、久邇、梨本の各宮殿下も何れも御參內あらせられたり

●總督府豫算 朝鮮總督府豫算は歲出入各四千八百四十七万〔…〕

●鐵道計畫短縮 朝鮮の鐵道計劃は最初十年計劃なりしが寺內總督は極めて熱心なる速成說を主張して五年計劃に短縮せられたる〔…〕

●本年中の議會 帝國議會開院式は二十〔…〕

●小松侯爵の任命 〔…〕

●井上大使の歸朝 〔…〕

●平井副總裁歸朝 〔…〕

▲新橋着入京せり

▲衛生局長の轉補 久保田衛生局長、〔…〕

●總督歸任の用件 〔…〕

●要塞築造計畫 〔…〕

●鐵道の新計劃 〔…〕

●商人と對淸貿易 〔…〕

●臺灣製糖の增資 〔…〕

●橫濱市の大火 〔…〕

●飛行機の顚覆 〔…〕

●廣軌の委員附托 〔…〕

●勅令二六五號改正 〔…〕

●消防夫功勞規程 〔…〕

●長春の新稅撤回 〔…〕

●哈爾賓のペスト 〔…〕

●米國領事の〔…〕

●安奉線工事の現況 客年來滿鐵に於て極力工事の進捗に務めつゝある同線の改築工事の現況は安東縣にありては既に鷄冠山より草河口を開通せしめ一方奉天よりは石橋子まで貨車を通しつゝありて更に近日本溪湖まで延長せしむべく而して全線百八十餘哩中に於て最難工事と稱せらるゝ福金嶺、黑坑嶺、劉家の三隧道工事の現況は福島組の請負に拘る福金隧道は延長四千八百八十呎全線中の最長なるものにして鑿巖器据付以前にありては兩口より僅かに一日六呎位を掘鑿するに過ぎざりしも該器据付以來は時に一日十六呎を進め今や餘す所一千八百五十呎に過ぎず、黑坑嶺隧道は管原組の請負に屬し全力を注ぎ從業中なるも硬岩疊出双方よりの掘鑿一日僅かに數呎に過ぎず延長三千二百五十呎既に四分三強の工程を進めたりと雖も頭目更に最硬度の巖石に逢着せりと云ふ而して劉家隧道は間組の請負にして延長一千八百八十呎鑿岩器を据付け一日五呎以上を掘進せしめ殘餘一千五十呎なり工事の概要右の如くなるを以て其の全線開通豫定の來四十四年七月には無論全部開通を見る疑ひなかるべし

●滿洲煙草の成績 滿洲に於ける東亞煙草製造會社は昨年十一月以て同地に製造工場を設置し英米トラストと激烈なる競爭をなしつゝあるが其製造力は半期間に二億二百五十三萬八千八百五十本に達する由なるも尚十分ならざるを以て近く一層販路の擴張を計り各工場を增設し輸入を防がん豫定なりと尚朝鮮には未だ專賣法を實施せざるも目下當局に於て種々調査中にて近く具體的方法を案出を見るべしと云ふ

●安東商團の將來 〔…〕以て組織されたる安東商團は以來日々規定の時間に依つて訓練を爲しつゝあるが刻下節季に入りたるを以て過般來數錬〔…〕十一時より午後一時迄と改め〔…〕參者ある時は罰金として一二元宛を徵收する事とした〔…〕前双合織の不參あり爲め〔…〕議討せんと目下紛議中なり〔…〕にては更に銃錬法を教授せ〔…〕商務總會を經て監督官憲へ〔…〕の下附を出願し居たるに今〔…〕を得たれば近く其の下附〔…〕るべしと兎に角物騷なる同〔…〕動如何は見物なるべし

●ボイコット 日韓 〔…〕國の滿洲に對する態度全た〔…〕天を中心として長春及び安〔…〕於て漫りに邦人に對し高壓〔…〕しつゝあるは既に世人の知〔…〕聞く頃日安東縣に於ては官〔…〕商務會及自治會等と協商し〔…〕する日本商人より物貨を購〔…〕じ尚は我官煙に對しボイコ〔…〕旨一般人民に通告したりと〔…〕して然らば國際問題上由々〔…〕なるべし

●鳳凰廳の禁煙令 淸 〔…〕鳳凰廳衙門に於ては今回卷煙草〔…〕を禁止せしめたり其動機は敢て〔…〕難からず諒すゝに例の排日〔…〕外ならざるべし今其罰則な〔…〕記載すれば左の如し

則

〔…〕にして私かに卷煙草を吸食〔…〕は減俸に處し陸軍々人警察〔…〕職を免ず

〔…〕にして私かに卷煙草を吸食〔…〕員は罰俸に處し學生は退校を〔…〕

〔…〕にして私かに卷煙草を吸〔…〕職員は罰俸に處し名譽職は一〔…〕議事權を剝奪す學員は一年の〔…〕を停止す

〔…〕人にして私かに卷煙草を吸〔…〕罰す

●新義州稅關近況 新義州稅關支署員の語る處に依れば例年結氷期に至れば氷上を通じて脫稅を計る者甚だ多く沿岸の住民亦此の期を利用し物品の賣買交換等を爲す古來の習慣あるを以て此の期間の監視最も困難を極むるを例とせるが本年は沿岸各所に巡査駐在所の新設せられたるあり支署員も增加せるを以て比較的脫稅者少なかるべく猶は昨今輸入の重なる者は高粱酒獸毛皮織物等にして輸出の重なるものは米麥粉食料雜貨薪炭等なりと云ふ

●仁川本國間定期航開始 仁川秋田商會にては沿岸航海の外に更らに仁川大連芝罘間航路に第二永田丸(千噸)第二乾坤丸(千噸)を使用し兵庫大阪橫濱間には三笠丸(千噸)播陽丸(一千四百噸)を何れも將客の用に供し定期航路に就かしむる由なりと

●民團議員候補運動 民團議員選擧の噂もソロ／＼人の話頭に上り來れるが京城の如きは道が總督府のお膝元とて氣早の連中は瀨踏みは愚な事公然候補の名乘を揚げ運動を開始せる向もあるよしにて其顔觸を擧れば進辰馬、三好和三郎、池田長兵衛、深水清、池田長次郎、小川勝平、白木爲次郎、増田三穗、近藤佐五郎等を始め其他の諸氏なるが今次の選擧は前紙にも報じたる如く選擧區域、選擧權の擴大增加は以前に比して頗る廣く且つ大となりたれば從つて當時に倍加せる得點ならざれば當選の榮を荷う能はざるより自然の勢ひ其運動も亦一緩せざるを得ざる次第なるが前記候補者が運動振りに就て是れを猜するに候補者聯合運動の方略を取り縣人會を始め營業者の同業團体を作らしめ是等を手中に收めて當選を倖せんとするもの如く昨今私かに其下準備中に見受けらるゝが何を云ふにも三十名の議員に二倍餘則ち六十餘名の候補者現はるゝの形勢なりと言へば期日も僅か三四十日の後に迫り居る事とて逐日候補者の出現と與に競爭運動も劇烈なるべしと

●名簿寫取り申込 當民團議員選擧名簿は履報の如く昨今徹夜調製中なるが定めて候補者の運動なるべし一昨日方より名簿寫取りを申込むもの二三に止まらざるが當局者は未調製の旨を告げ尚ほ這は公然發表の以前に於て縱覽を許すべきものにあらざるを諭し拒絶し居れりと

●民事件調停に就て 十五日制令第十一號を以て發表されたる警察署長又は其の職務を取扱ふものに官轄區域內に於ける民事爭訟調停に關し某司法官は語つて曰く今回發表せられたる民事爭訟調停に關しては未だ該取扱規程及費用并に執行手續等發表せられざるを以て一般に涉り詳細なる法律關係を瞭する能はざるも從來各警察署に於て行政事務の一部として民事上の所謂履行債務關係貸借債權債務の取立其の各種民事上の紛爭に關し所轄警察署長は當事者の申請に因りて說諭を加へ當事者双方を和解しつゝ來れるが中には債權債務は勿論其他幾多の給付及履行の爭訟等にして說諭を申請する者に對して民事々件等の故に受理せられざる等あるを斯くては交通不便なる朝鮮に於て當事者双方無用の費用を要するが如きに至りては反りて不便なるが故に右便宜を計らんが爲め此の制令の發表を見るに至りたるものなるべし而して本令第二條の所謂調停の成立したる爭訟と同一事件に付ては訴訟を提起する事を得ずと

●訴訟代理業者恐慌 十五日制令第十二號を以て朝鮮辯護士規則公布と同時に從來公認されたる特許訴訟代理業は其資格消滅したるが此を知れる當地の訴訟代理業者は大に驚き昨日某所に會し熟議の結果名地の同業者に檄を飛ばし同業者大會を開き特權の復活に就き大々的運動を開始する由なるが朝鮮も既に有資格の辯護士多數あれば訴訟代理業者などの存在を必要とせざれば折角の復活運動も何等効なかるべしと云ふ因に各地の代理業者は左記二十餘名なりと △京城 岩本英夫、小川勝平、中島安邦、金澤松吉△釜山 久保田五郎、佐々木清綱、植野作太郎、泥川某△馬山 沖田敏太郎△大邱 加藤一郎△仁川 石塚嘉一、後藤運平、北島靜△群山 大坪龍三、中山道雄△全州 志賀日俊

●補習學校設置 慶尚北道尙州公立尙州普通學校內に公立尙州實業補習學校設置の件認可せられたり

●昌德宮警察移轉 昌德宮警察署は十六日より元の內閣跡へ移轉すと

●吉原副總裁辭任 目下東上中の東洋拓殖株式會社副總裁吉原三郎氏は健康勝れざるの故を以て其筋へ向け現職辭任を申出でたる由當地或方へ通報ありたり

●朴子の李伯訪問 十六日午後一時より朴齊純子は李完用伯を訪問し貴族の家政整理問題に關し協議すと

●●●●●神野事務官の歸期 監獄事務視察として出張中なりし司法部神野事務官は來る十八日夜釜山出發歸任の筈なり

●樺太島漁業家と朝鮮 朝鮮海に於ける鰯、鰊の漁獲物は從來多く食料に供するものにして肥料に製造するは極めて少く從つて鰯、鰊の如き多獲の出來るものも漁獲方法幼稚にして肥料に製する程の漁獲なきが在函館の樺嶋漁業家諸氏は朝鮮海に於ける鰯鰊業の有望なるを認め肥料製造を目的とする資本金五十万圓の會社を組織して來春の漁期より着手するに至る可しと

●大同江上流の流水狀況 已報の如く鎭南浦大阪商船會社支店にては店員を稅關の鎭洋丸に便乘せしめ十四日鐵嶋附近の流氷觀察をなさしめたる由なるが該觀察員の語る所を聞くに鐵島上流の大同江は流氷極めて微々たるも蠶寧江は全部結氷し鐵島浮地、右岸浦附近一哩餘は一帶の流氷停滯し居れりと而して鐵島の下流牛耳屯附近迄は極微細なる氷片の流出を見たるも未だ氷塊堅固ならず破壞し易しと之れにより考ふれば來る十八九日の大潮時には鎭南浦港にも氷塊の流出するを見るに至る可く若し其流出甚だしければ船舶の出入危險なるを以て航行は杜絶するならむも同期の流出僅少ならば年內は航行自由ならむとのことなり

●平南線と南浦金融 鎭南浦は每年結氷期に入りては全く交通杜絶するに至るより隨て他の地との一般商業取引は全く休止の姿となる事なるが本年は平南線の開通したる爲今や既に結氷期に入らんとするも一般商品貨物は依然として輸出入を見つゝあり就中同地に於ける重なる輸送品を以て目せらるゝ馬場齊藤兩精米所に於て作製する精米の如きは之が輸出に就き兩精米所より鐵道側に對し既に莫大なる量の輸送契約を爲したる趣きにて即ち兩精米所にては目下自家作製の精米は每日平南線に據り仁川へ輸送し更に仁川より之を輸送地大連へ仕向けつゝあるが之等の事情の爲め例年結氷期間は一般資金は固定し頗る金融の逼迫するを例なる鎭南浦の本年は資金の流通好く金融亦緩漫にして爲めに一般人氣も亦例年の同期に比しては良好なりと

●全道の移住漁村 最近の調査に據る朝鮮全道に於ける移住漁村は四十七村にして其戶數一千二百九十八戶人口五千二百五十九名なりといふが外に移住漁村なる名目を付せず獨立移住と爲す者多く是等に對する調査は未だ分明ならずといふ

▲仁川港の船舶出入▼

十七日	濟浦丸	大坂より入港
同	日高丸	芝罘へ向出港
同	三笠丸	大坂へ向出港
同	濟浦丸	大坂へ向出港

▲京城手形交換高▼

	金高	枚數
十二月十六日	三三〇、六五〇、四二	三四八

●大坂に於ける朝鮮米雜穀 ▲十四日（各一石、單位錢）

釜山精	一五三〇
同上	一四三〇
同中	一三八〇
同並	一三三〇
改良立	一三九〇
同上	一二五〇
馬山改	一三三〇
木浦立	一二七〇
同上	一三三〇
群山立	一二六〇
同上	一三三〇
仁川白	一四〇〇
同中	一三六〇
同並	一三三〇
改良立	一三六〇
同上	一三三〇
南浦改	一三四〇
同上	一一七〇
釜山	九〇〇
新大豆	九〇〇
龍山同	九四〇
仁川大	九一〇
同中玉	八八〇
同小玉	八五〇
南浦大	八四〇
同中玉	八八〇
同小玉	八五〇
元山大	九二〇
同大豆	九五〇
同次	九〇〇
小豆	品切
赤大玉	八八〇
同並	
同黑	品切
釜山	八八〇
小麥	
仁川同	八六〇
南浦同	八七〇

▲大阪期米（十六日）▲前場十二月十四圓五十九錢▲一月止五十九錢▲二月止九十八錢▲後場十二月寄十四圓五十八錢▲止五十九錢▲一月寄六十錢▲止九十錢▲二月寄九十六錢▲同（十六日）前場十二月寄十四圓五十九錢▲一月寄六十一錢▲二月寄（電文不明）

▲大阪株式（前日後場）

	寄	引
神戸電鐵	三七、八〇〇	三七、七〇〇
京阪電鐵	五九、〇〇〇	五九、四〇〇
鐘淵紡績	一〇〇、七〇〇	一〇〇、三〇〇
日本郵船	出來不申	九七、五〇〇
東京株式	出來不申	九七、九〇〇
大阪株式	一三一、六〇〇	一三〇、九〇〇
同新	一四三、〇〇〇	一四〇、九〇〇
同取引所	一四〇、二〇〇	一三九、七〇〇
同	一三九、五〇〇	一三八、九〇〇

▲仁川米豆取引（十六日）▲後場十二月寄出來不申▲二月寄九圓三十七錢▲最高四十二錢▲最低三十五錢▲止三十九錢▲同（十六日）前場十二月寄出來不申▲二月寄九圓四十錢▲最高五十錢▲最低四十錢▲止四十六錢

▲治外法權▼ 此頃內地から來る新聞はドレもコレも總督政治の惡評を載せて居る、ツイ此間迄意外に評判の良かつた總督政治が此頃の樣に惡評さるゝ樣になつたのは何の爲か▲一体惡評と云ひ善評と云ひ評者の云ふ事には無責任が多い、故に當局者としては善惡ドツチの評をも意に介せず、只だ信ずるところを馬車馬的に行へば良いのだ、併し火の無き所に烟揚らずと云へば當局者とて世人の評を馬耳東風牛視するを能事とする譯にも行くまい▲軍人たる寺內總督がナニもかも武斷的にヤルから夫が惡いと評する者もあるが記者は此評には與みせぬ、何となれば武斷的とは物をテキハキきめると云ふ事でツマリ文治者流の優柔不斷に比して正反對の事だ、武斷には武斷の長所がある、記者は武斷政治長所の發揮を望んで止まぬ▲併し翻つて今日の總督政治を見ると武斷的措置は一日一日と減つて行く樣だ、否な或方面の如きは武斷的オモカゲさへ殆んど無くなつた樣だ、記者は此傾向に對して甚だ心細く感ずる▲寺內總督は二十日東京を發して歸任せらるゝソウだ、記者は總督が歸つて來たら言ふ事が幾らもある、例せば一部文官等の慢心と特許會社及銀行重役等の不心得等がソレだ、彼等日常の行動は所謂寺內式に全然反して居る、從つて今日の總督政治に間接累を及ぼしてる▲京城の圖書館がヤツト出來る事になつた、群山の圖書館準備會は段々其事業が進む、平壤の讀書會は每會盛んの樣だ、カク讀書機關や讀書趣味が移住民間に普及するのは結構の事だ▲京城に官幣大社を建てると云ふ說はトックから有るのだが中々決しない樣だ、記者の考では現在の大神宮を擴張すれば良いと思ふ▲辯護士規則が出た、モー是からはモグリ共の師走だ。

●安奉線工事の現況

▲客年來蘇驛に於て極力工事の進捗に努めつゝある彼の安奉線工事の現況は安東縣にありては既に鷄冠山より廣軌を開通せしめ一方奉天よりは石橋子まで廣軌を通しつゝありて更に近日本溪湖まで延長せしむべく而して全線百八十餘哩中に於て最難工事と稱せらるゝ福金嶺黑坑嶺、劉家の三隧道工事の現況は鹿島組の請負に拘る福金隧道は延長四千八百八十呎全線中の最長なるものにして鑿岩器据付以前にありては兩口より僅かに一日六呎位を鑿掘するに過ぎざりしも該器据付以來は時に一日十六呎を進め今や餘す所一千八百五十呎に過ぎず、黑坑嶺隧道は菅原組の請負に關し全力を注ぎ從業中なるも硬岩疊出双方よりの掘鑿一日僅かに數呎に過ぎず延長三千二百五十呎既に四分三強の工程を進めたりと雖も頃日更に最硬度の巖石に逢着せりと云ふ而して劉家隧道は岡組の請負に[illegible]延長一千八百八十呎鑿岩器を据付け一日五呎以上を掘進せしめ殘餘一百[illegible]十呎なり工事の概要右の如くなるを以て其の全線開通豫定の來四十四年七月には無論全部開通を見る疑ひなかるべし

●全道の移住漁村

最近の調査に據る朝鮮全道に於ける移住漁村は四十七村にして其戸數一千二百九十八戸人口五千二百五十九名なりといふが外に移住漁村なる名目を付せず獨立移住を爲す者多く是等に對する調査は未だ分明ならずといふ

▲大阪期米（十六日）

▲前場十二月十圓五十九錢▲一月止五十九錢▲二月止九十八錢▲寄十四圓五十八錢▲止五十九錢▲寄六十錢▲止九十[illegible]▲二月寄九[illegible]▲止六十錢▲同（十六）▲前場十二月寄十四[illegible]九錢▲一[illegible]六十[illegible]一錢▲[illegible]月寄[illegible]不明）

小廣の無意氣地

▽惚た男を横取さる

仲居すりやとて女ぢやものを稀にや男も欲しくなる欲しくなりや藝妓の客も取るた客取られて口惜しいかと自分の不都合は緣起棚の隅つこに挨と共に押し込んで盛んに惡たれて居る仲居と云はれ馴染の旭町開進亭の美津子なり年はと云へばアノ腹切つて死なしやつた勸平殿と同い歳女にしては分別盛りなるが仲居と云へば大概硝子の蠅取器へ眼と口とをとツ着けた如な顏るれ粗末で在らつしやるのなるに引き換へ此の見斗りはホンノ幽ながらも澁皮が剝けて居るのみか御祝儀の多寡に因つてれ客の取り扱ひを叮嚀にしたり粗末にしたりする術も心得て居ると云ふ至極現金な悧巧者なれば仲居はして居ても心に油斷なく粋で金錢放れが善くて而して後腐れのない旅の人もやあらば藝妓衆の客だつて關ふ事はない一つ横取つて與れ樣萬一夫れで愚圖々々と云ふ人があつたら『ハイ私はハイれ客さまを取りました、貴女は藝妓だから藝のれ客、私は娼妓でない貴女方には出來ない方の藝でれ客にしました、ハイアレハ妾しのチテツントンシヤン情夫ですよ』と口三味線で怒鳴り飛ばす迄のこと所存の臍を三味線糸で括つてアレか是れかと秘密探して居た本年八月の下旬飛び込んだのが、ツイれ隣りの三日月旅館に止宿せる濱崎と云ふ三十二三の色男なり美津子是れを一ト目見るより所存の臍を堅めて仕舞ひしも其所は何んと申しても仲居の悲しさ直ぐに左樣とも申し出し兼ねしが其樣こと、知らう筈なき濱崎君藝妓の小廣（一九）を對手に淡泊と遊んだ末美津子に向ひ何うだれ前の周旋で小廣と好い交情にはなれめわかとあるに其處は强か者の美津子胸の一物は色にも出さず『アラ貴郎も氣の早い東京邊の藝妓衆は不見轉とやらで初見のれ客も取りましようが其處は京城は物堅いんですよ其の物堅い内にも私ん處は又特別に物堅いんですからね、ソウーチー何うしても四五遍は御耐忍なさらないぢやね、れ意氣も判りませんから藝妓衆だつて安心しませんやね』と至極尤もな事を申し上げたるに濱崎君美津子の胸に一物のあることを知らねば『アー其樣なものかな、存外京城の藝妓は初心なものだ然らば俺も精々實意を盡すからウンと云はして與れねば』と四五日續け玉に登樓遊興した結果もウ善からうと切り出したるに美津子逸かに聲を秘め『實はね旦那惡い事は申しませんが小廣さんは二世も三世もと契つた男がありまして二三日中に落籍される事になつて居りますんでね、外にも女は居るんですが皆んな餘り感心せぬ奴斗り二十五圓と云ふ大金をれ出させ申す程のものはありませんの、貴郎では御立腹ては困るんですがね、貴郎や私の心を察して頂戴よ焦つたいよホントに』と胸の一物なるものを放り出したるに娼談一決して待合住の家にて嬉しい首尾をすることになつてけり、然るに一方小廣も濱崎の粋な處に岡惚つて居しに其の後一向見へぬに氣が氣でなく種々手を入れて探り見しに前記の事情判明したるにぞ怨みつらみの數々を濱崎に宛て郵送せしを同人は又之れを美津子に見せしを美津子は之れを貰ひ受け小廣の不都合なりとし樓主に渡したるにぞ悶着の火の手を揚げつゝありとは小廣も意氣地のないものなり

某辯護士の不謹愼

▽切に其の反省を促す

玆に朴虎基なるものゝ實兄朴順基なる者が公州地方裁判所管轄地在住李某と爭訟起り第一審裁判所に於ては辯護士に依賴せず自身出廷し辯論の末勝訴となりしが相手方より控訴して大邱控訴院に於て審理せらるゝ事になりぬ然るに朴虎基と某辯護士の手先某とが知り合ひなるより朴は該事件の話しを爲し辯護士撰定中なりと云ふより手先は例の某辯護士が裁判官たりしに付如何なる事件でも勝訴となるは保險附なりと稱し引受くる事となり旅費金として一回金五十圓謝金として請求額の二割の契約にて都台七回某辯護士大邱に出張旅費金三百五十圓は受領せしも第二審裁判は美事敗訴となりぬ然るに依賴者に於ては第一審裁判には自身に出廷して勝訴となりしのみか殊に證據完備せる事件が第二審に於て敗訴せしは不思議なり之れには何か秘密の伏在せるならんと種々取調べたるに杖とも賴みし辯護士は相手方の辯護士と大邱有名の一等料理店達城館にて藝妓を上げ自己が自慢の藝蓄しなどを爲したりとかの不謹愼あり他人の秘密に携はり其の權利義務の生命を握れる重大なる責任を有する辯護士が苟且にも斯の如き批評を受けるは是れ畢竟某辯護士の不謹愼に起因す可し又十八銀行より鐘路の岡田辯護士の裏書を得て金二百五十圓借用して期限に支拂出來ざるとて該手形に因り小林某より二重に借り出したるが如きも以上果して借なりとせば辯護士として不謹愼なる處置なりと云はざる可らず例證は未だ幾許もあれど餘りに五月蠅ければ略して同人の反省を促す

●娼妓不法監禁

と云つても左樣慌てるにも及ぶまい夫れ脚下に膽がある氣を靜かにして總ひまで讀むべし鹿兒島縣鹿兒島市住吉町當時日の出町百四十三番戸榎本佐吉（三〇）は朝鮮人相手に高利貸に從事する者なるが本年九月中部堅坪坊典洞五統六戸酒商金順昌なる者へ金四十圓を貸與したるに期限に至り支拂ざるに付今より十日前通譯姜相鉉（二八）なる者と金順昌方に行き金の出來る迄とて抱娼妓雲月事金千蘭（十九）を連れ行き不法監禁中なる事北部署に探知され取調の上檢事局送

●通譯の詐欺取財

南大門外東山洞百四十七統七戸許在植（三五）は長谷川町一丁目島岡宮次郎が曾我部某と共同にて開拓社を設立するに際し通譯其他にて島岡宅に出入する者なるが本月一日朝鮮人權澤なる者が土地賣込を申入れ來りしを奇貨として土地調査費用として金五圓を受領し其の請取證を認むるに對し開拓社の印を盜用押捺之を交付し五圓は自己にて費消し又十一月初旬頃東大門内李公植なる者會社設立するに資金不足に付土地一萬坪を擔保として金一萬五千圓の借入方を開拓社に依賴す可しとて島岡を現場に連れ行き境界等を示したるを以て島岡は知己の藤澤なる者に話し同人より出金す可き事に決定し所有者を確めたるに許在植とは全く架空の氏名にして該金を騙取せん目的なりし事を南部署村ト佐藤川副の三刑事探知南部署に於て取調の上檢事局に送らる

●見當違ひの憤慨

東大門外居住牛肉行商人李明花なる者西小門内三十七番戸大工職坂口平太郎が南山町居住中牛肉一斤を掛買したるに坂口が西小門内に轉住せし爲め李明花に坂口の行衛を探す内十五日西小門にて坂口の女房に出會せしより督促せしに女房は宅に來れと云ふより同行し其後の事情を話し居りたるに坂口は支拂ふ義務なしと答へしかば李は坂口に對し夫れでは盜棒ではないかと云ひしを見當違ひに憤慨して生意氣なりと下駄を以て李の頭部を毆打し疾病休業五日を要するに至らしめ西部署に訴へ治療費二圓にて事濟み

●執行猶豫中窃盗

京城本町二丁目五番戸三浦誠吉方雇人原籍熊本縣天草郡島子村大字牧平民宮崎萬太郎（十七）は十四日午後四時頃二階にてランプ掃除の際机の引出に入れありし合財袋の中より金二十圓を窃取し直ちに同家を去り龍山に來り内地方面に逃走せんと停車場附近を徘徊中擧動不審の爲め同地憲兵分隊の爲めに引致取調の結果如上の事由明瞭となりたり同人は昨年窃盜罪に依り懲役三ケ月の刑に處せられ三年の執行猶豫を言渡され居る者にして亦々今回の事あるとは實に不埒なる小僧と云ふべし

●迷ひ自轉車

仁川京町一丁目藤野某方門前に一昨日午前六時三十分頃一輛の自轉車が捨てある旨屆け出たる者あるより出張取調べたるに該自轉車は去る十三日本町四丁目自轉車業渡邊濟吉方へ内洞四統十戸李國有と自稱する者來りて一時間の契約にて貸與へたるに遂に其儘持來らざるより其筋へ屆置れる品に相違なきを以て本人へ渡されたり右は何人か窃取したるも破損しあるを以て前記の處へ捨たる者ならん

●思ひ違へて亂暴

長崎縣高來郡北有馬村三十七番戸當時若草町一丁目四番戸魚行商人松本傳（二十）は十五日夜十二時四十分頃龍山祝町友人宅にて饗應を受け酩酊しての歸途青坡町五十八番戸料理店坂東方に立ち寄り一杯飲ませよと云ひしに目下酌婦病氣中に付出來ぬと斷りしを故意に斷られしとて亂暴を働き青坡派出所にて說諭放還

●仁川雜事

仁川宮町一丁目丸林某の飼犬は一昨日狂水病に罹りたるを以て矢野獸醫診斷の上撲殺せり▲敷島遊客一昨夜は三十一人散財金九十五圓七十錢なりと

●詐欺取財未遂

旭町一丁目二百六十一番戸坂本齊之助は本町一丁目十一番戸豐田由藏の有價證券に虛僞の金額を記入し詐欺せんと企てたる事發覺文書僞造犯として南部署に引致目下取調中なりと

●觀音講說教

若草町曹洞宗南大本山別院にては十七日午後一時及同七時より十八日午後七時より何れも說教あり並に詠歌和讃ありと云ふ

●日韓禪寺觀音講

十七日午後一時より花園町曹洞宗日韓禪寺に於て月並觀音講說教並に禪學講話詠歌和讃等あり參詣隨意

●淨土靑年會講演

十七日午後七時より明治町淨土宗開教院に於て左の講演あり

一、生？死？　水谷開教使
一、覺醒を促す　横江開教使

●四十四年度日記類

日記は吾人の歷史にして過去の備忘錄なり何人も一本を座右に備へ日々の出來事書信の往復、金錢出納を記入せざるべからず、當地日韓書房は今回東京博文館、金港堂、大倉書店、實業の日本社、東亞堂、春陽堂等發行の當用日記及懷中日記各種取揃販賣すと詳細なる定價表は廣告欄を見よ

●羽子板と百福號

本町四丁目百福號にては季節向東京羽子板手遊び品婦人小間物類一切の新流行品多數荷着の由兼ねて信用ある同店の事故定めて店頭人の山をなすべし尚同店は益々業務の擴張につれて今回隣家なる六三俱樂部全部を取り込み陳列場となさんと目下工事を取急ぎ居れば落成の上は一層の繁榮を來すならん

▲浪花館

開演初日より大好評を博し居る浪花節京山北星一座の十六、七、八三日間の讀み物は白石噺（虎奴）後藤又一郎（虎喜代）水戸黄門記（隅圓）大久保藤の丸（小虎丸）石山軍記（二代目虎丸）義士銘々傳、左り甚五郎（京山北星）なり

歌留多早取法（二）

▽巧手見る可らず

斯うなればもうしめたもので立派に歌留多取りのれ仲間入りが出來るのである、玆に一寸注意して貰い度のは此上の句五字丈けで練習したなら實戰上不便が極めて多い事である、何んでも此遊びは迅速と云ふ事が最も必要であるのだから上の句五字讀んで初めて取りに行く樣では一昨日御出でゝ其をかくが關の山、即ち上の句の數字をよく注意して一字なり二字なりで電光石火に飛ばす樣でなければ切角暗記した功能が極めて薄い、要するに前述の暗記が充分腹に入つたなら今度は今一歩進んで歌の種類を研究するのである、譬へば「ふくからに秋の草木のしほるればむべ山風を嵐と云ふらん」と云ふ札は上の句「ふ」と云ふ類句かないのだから「ふ」で直ちに「むべ山風」を取る事が出來るがこれに反して左の句は如何しても上五字讀み終らねば取る事が出來ぬ。

キミガタメ惜しからざりし命さへ
　なかくもがなと思ひけるかな
キミガタメ春の野に出でゝ若菜摘
　我衣手に雪は降りつゝ

又左の札は上二字で取り得られぬ類句である。

アキの田のかりほのいほの苫わらみ
　我衣手は露に濡れつゝ
アキ風にたなびく雲の絶へ間より
　もれ出る月の影のさやけさ

二、排べ方

記臆の方法が充分腹に入つたなら進んで札の並べ方に就てれ話しよう、何んでも此歌留多遊びには迅速と云ふ事が第一要件であつてそして又此遊戲の眼目であるのだから、いざ戰爭となる前に充分其準備をして掛らねば思ふ樣に活動の出來るものでない、然らば其準備は如何すれば可いか、つまり札の取り方及び並べ方の研究である、先づ並べ方に就てれ話しす、凡て何の競技に限らず猛烈なる攻擊は最も必要ではあるが守備が出來てゐなかつたら勝ちを得る事は先づ六ケ敷いと云はねばならぬ、此歌留多遊びは殊にさうで自分の方の陣立が出來ても居ないのに無暗の敵陣許り狙うた處で得る處はない。

寫眞館讓渡し

市内目拔の場所にて御望の方は本町一丁目南部警察前中島安邦方へ

今日の運勢

十二月十七日　舊十一月十五日　二黑先勝丙辰定△一白●新事見合せの事保證受印世話事を禁ず△二黑●新事旅行見合せの事盗難遺失酒色の害を戒しむ△三碧●過失疎虞ある日なり旅行出帆改革整理移轉に忌む△四綠●取引金品授受證券印章の事故障起らんとす外誘要求斥くべし△五黄●世話保證事を禁ず其他平靜の日進んで吉△六白●疾病衛生に留意すべし他は快旅の日大抵吉△七赤●屆入れ婚談に忌む其他進んで吉委託相談請願中裁に尤も吉△八白●改革整理旅行移轉轉業交涉談判に吉從者家族の事に配心世話多し△九紫●旅行出帆見合すべし其他進んで吉（一本町五丁目三一舘判斷）

●諸公債諸株券　現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
銀行業
諸官衙御用達
京城本町三丁目
大阪野村銀七代理店
田中友[illegible]

十二月十三日ヨリ十二月二十八日迄
景品附大賣出シ
景品ハ福引券ト即時引換申候
但シ福引券ハ五十錢毎ニ一枚進呈
家具・簞笥
漆器・金物
唐木細工物
メリヤス類
荒物一式
Ⓗ
京城本町一丁目
平田商店

東京金港堂發行
實用日記
布裝定價金四十錢　郵税金八錢

日韓書房特約　四十四年日記
當用日記
特大金五十五錢　中金五十錢　中上金三十八錢　小金三十錢　新案金六十錢　新式金五十錢　郵税各十錢
重要日記
實業の日本社發行　布裝定價金五十錢　郵税金十錢
修養日記
大形定價金五十錢　小形定價金四十錢　大二十錢　小二十八錢
家庭日記
東京博文館發行　布裝定價金卅八錢　郵税金十錢
家政日記
東京金港堂發行　布裝定價金四十錢　郵税金十錢
ポッケット日記
CBA　總皮五十五錢　總皮四十五錢　總皮六十五錢　郵税四錢
英文當用日記
東京博文館發行　中形定價金五十錢　郵税金十錢
英文懷中日記
總皮定價金三十五錢　皮定價金二十五錢　郵税金四錢
懷中日記
總布金十八錢　並製金十二錢　總布金二十錢　細形金二十錢　郵税各金四錢

朝鮮特約一手販賣
京城本町二丁目
日韓書房
電話一四五番　振替一一五番

南大門通三丁目光宣門側
御待合　紅葉
電話一三八二番

安藝產物
宮島細工專門商
年末御進物用品盆類菓子器破格の大勉強仕候
京城明治町勸商場內
大野木商店

神戸海上運送火災保險株式會社
資本金五百萬圓
出張所　京城明治町一丁目
(電話一五四九)

廣告
本年も最早餘日なく迎陽の準備に忙わしく候處御得意樣愈御清榮の段奉賀候扨弊店儀開業以來日に〱繁榮に趣き今日あるに至り候は偏に御引立の賜と深く奉深謝候就ては業務擴張に對し從來の活版印刷工場狹隘を告げ候に付左記の所へ新築中の處今般落成と共に移轉一層勉強貴需を滿たし御引立に相酬ひ度右移轉披露を兼ね歳暮御祝儀の印までに大勉強販賣仕べく候尤も歳末の賣出に際しては多々景品券を差出候得共弊店聊か見る所あり來る十二月十五日より同三十一日迄多少に拘らず粗品呈上可仕候間續々御用命奉願候以上

商品科目
和洋紙諸帳簿
文房具活版印
刷並に
製本種々
京城本町一丁目
北內商店
電話一一五二
同　本町五丁目
北內支店
電話一三〇三
同　旭町二丁目七十四番戸
北內工場
印刷製本

義齒術全般
京城永樂町一丁目
永田正二
電話一四三二番

新荷續々着
一レモン　一アップル　一ヲレンヂ
一干葡萄　新着
洋酒食料品ハ固ヨリ彩色箱、化粧品等新着荷致候　手遊品類近着
大陳列場御一覽被下度候
明治四十三年十二月
京城大漢門側
ヱル、ロンドン商會
(電話九九五番)
○西大門外アストル、ハウス前に庭園廣き洋韓折衷の高等貸家あり水道附屬家賃二十五圓

歳末と山口呉服店
歳の市大賣出し
◎弊店義聯合大賣出し加盟致し居候に付規定の景品券進呈仕候外に
◎來る十六日より卅一日迄現金に限り平素の御愛顧に酬ゆる爲め御買上げ金高に應じ破格の御添物進呈可仕候間特別の御引立御來店被下度奉願上候
◎御進物用御便宜上呉服券をも發賣仕候
●遠方よりの御注文は男物並に女物年齡柄向等御申越し被下候得者早速代金引換へにて御送り可申上候萬一不向きの節は幾回にても御取替へ可申上候
●追而見切反物並に釣切類は御添物無之候
君が代足袋發賣元
京城本町四丁目
山口呉服店
電話長九番

珍らしき
朝鮮土產
一號　二號　三號　四號
DECEMBER 17 土曜日
年內僅かに四十日
年中行事
土產品と御歳暮品
の撰擇は一日も早かれ
日本內地への御土產と御歳品の提供!!!
年首の縁喜に鶴の箸と鶴の罐詰御使用あれ!
朝鮮名產品各種
製造發賣元
京城本町三丁目
海市商會
電話二五〇番
振替口座朝鮮四八番
朝鮮產品取揃へ有之候間何品にても御用命可被下候時節柄御進物用に御見計ひ御注文に應じ申候
鶴ボイル
京城海市商會製

開業十五週年新築落成
四方の御得意樣益々御機嫌能御座被遊喜悦之至りに奉存候陳者今回貳丁目に新築致し御客樣方の御意を伺得るしこう仕り席御料理に丁字風呂をわかし清けつなる料理と親切と勉强を以て御注文に應じ安價をむねと致し候間何卒舊に倍し皆樣方の御引立を伏て奉願上候敬白
御席
御料理
丁字風呂
壽町會
壽町貳丁目
有明樓
電話七百三十八番

歳暮と百福號
●東京御羽子板手遊品並に
●婦人小間物流行の數々
荷着大賣出し申候
小間物
化粧品　御商
京城本町四丁目
百福號
電話七四六番
振替口座一一一一番

諸官衙御用達
營業科目
和洋紙類　印刷附屬品　印刷インキ　和洋書籍　防腐デシン　穀物食鹽　諸雜料類
發賣販賣
東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田[illegible]代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
[illegible]
藤田合名會社
本社　京城明治町二丁目(電話三〇番)
出張所　東京日本橋區南鍋町一丁目(電話新橋三六九二番)

移轉廣告
一弊店等日鮮合邦と京城府發展に伴ひ從來の場所にては不便利に付左記へ假新築移轉仕候間舊倍の御引立の程奉願上候且弊店等の店前には日本人朝鮮人支那人等共に多數開店卸小賣に係らず勉强營業致させ居候に付食料品は全部立所に取揃候間至極便利に有之候共に御引立願上候
京城南大門北米倉町
ヵ　辻本嘉三郎商店
電話六四一番　振替口座京城三八番
本宅旭町二丁目　電話一四七八番
丁　池尻林太郎商店
電話三五一番　振替口座八六番
仲買人一同

清酒
正宗
正則
釀造元
上酒　小賣壹升に付三十錢
卸賣は特別割引可仕候
清酒
味淋燒酎
並に日用食料品雜貨類
釀造元
京城壽町三丁目
中井酒造場販賣部
電話百七十七番
電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候

見落給ふな
特別大景品附大賣出し
今般聯合大賣出の擧に座し當商會も加入罷在候間得ば倍舊の御厚情に預り度猶多年御愛顧にむくゆる爲め特別左の規定を設け大々的大賣出仕候間機を見るに敏なる賢明諸彥陸續御來求あらん事を伏希仕候
特別規定
金口賣各種
葉卷賣各種
當商會より差出せし聯合景品券(當商會スタンプ押捺あるもの)にて左記當籤者には下記の特別景品を呈す
一等、當籤者へは金口賣四千本　二等、當籤者へは同樣一千本
三等、當籤者へは同樣六百本　四等、當籤者へは同樣五百本
五等、當籤者へは同樣三百本　六等、當籤者へは同樣二百本
七等以下三十等までの當籤者へは各百本宛三十一等以下四十等までの當籤者へは各五十本宛
期日十二月十日より同月三十一日まで
(注意)贈與期限りあれば至急好機を逸せられざるは諸君の賢なる處なり
右歳末年始贈品に適當に付多少共御用命願上候
デーヱスパテレス商會